

寿

にこにこ

前原病院 広報誌

発行日 令和6年1月1日

医療法人 慈生会 前原病院

院長 前原 弘江

慈生会の理念

慈愛の心

- 一、すべての人の人生を平等に大切に考えます。
- 一、私達はどんなときにも出会う全ての人に笑顔とやさしい言葉で接します。
- 一、私達は地域との連携を図り、患者様の社会生活を支えます。
- 一、日々新しい知識・技術の習得に努め、自らの成長のためにチャレンジを続けます。
- 一、職務を通して人間力を磨くとともに、多職種で協力し、組織の一員としての役割を果たします。
- 一、笑顔で働きがいのある職場造りに努めます。

謹賀新年



慈生会前原病院
理事長 前原 敬悟

新年明けましておめでとうございます。

2024年を迎えました。新型コロナも5類感染症となって私達の生活も以前のように戻るかと思いましたが、物価上昇、人手不足、人件費高騰など社会の事情は大きく変わってしまいました。しかし 私達の収入の原資となる診療報酬、介護報酬は国が決定するので社会の動向から数年遅れて、しかも決定額は期待からかけ離れた額にがっかりさせられるのが常となっています。令和5年末には新型コロナウイルス感染症にインフルエンザウイルスも激しく流行して令和6年も春まで流行は続くのではないかと考えられます。

そのような中で慈生会では元の王子町の病院の建物を改築して、看護多機能ホーム「歎多希 とまとの家」を開設しました。病院の地域包括ケア病棟、老健施設では入院患者、入所者の在宅復帰を強く求められます。その、在宅復帰を推進していく助けになれば地域包括ケアの理念に沿った事業として成功と評価できるものと期待しています。

また、「歎多希 とまとの家」の1階では地域交流スペース「Care la care」を設けています。地域の方々がそれぞれ、そして慈生会と触れ合って、健康の維持に貢献できればうれしい効果を期待しています。

前原病院では、今年は泌尿器科の医師の診察を計画準備しています。頻尿、排尿障害、など泌尿器の診療が必要な患者さんの増加に対応したいと思います。

くつろぎ苑は、昨年加算型老健から在宅復帰強化型老健となりました。全国老人保健協



会によると全国の老健 4 割以上がコロナ禍のために赤字となったと発表されました。くつろぎ苑も赤字から脱却したい必死の思いで在宅強化型に移行しましたが、赤字から脱却できていません。さらに努力していきたいと思っています。

今年も 医療法人慈生会を、よろしくお願いいたします。



慈生会前原病院
院長 前原 弘江

明けましておめでとうございます

2023 年はコロナ感染症が 5 類となり、少し日本全体がコロナ禍と比べて活気が出て来たでしょうか。当院でも面会制限をコロナ禍前までとはいきませんが緩和し、職員の歓迎会や忘年会を実施する事ができました。それでも、今まで院内でのクラスター発生が今だにない事は、ひとえに皆様のご協力のたまものと感じています。ありがとうございます。

私個人としては 11 月に初めてコロナに感染し、数年ぶりに高熱と経験したことのない咽喉痛に苦しみました。ほぼ一週間診療をお休みする事となり、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。ただ、どんなものなのかを身をもって経験できた事は、今後の診療に役立つはずと思っています。

この冬は、コロナと共にインフルエンザが猛威をふるっています。引き続きうがい、手指消毒といった感染対策を継続していく事が重要です。

さて、毎年年末になると、話題になるのが、今年の漢字一字ではないでしょうか。2023 年の漢字は「税」でした。岸田総理の顔が思い出されますね。皆さんの 2023 年は、漢字一字で表すと何になりますか？ 私は視点・視野の「視」かなと思います。私の 2023 年は、視点を変える事で、いろいろな事を乗り越えて来られたように思えるからです。精神的に行き詰ってしんどい時というのは、得てして、ある考えに執着してしまい、視野が狭くなっているものです。そういう時に「視野を変える」事で、一気に視野が広がり、心が楽になる事を何度も経験しました。その視点を変えるきっかけや、方法は、私の場合は主に「歴史的視点」でした。様々な歴史学者の話をテレビや You-Tube で聞いたり、本を読んだりして、歴史上の偉人たちが、どんな思いやどんな考え方で、人生の選択をして、言葉を発していたのか。偉人たちの視点で物事を考える事が、自分の視点を変え、視野を広げ、精神的にしんどい時、私を助けてくれました。まだまだ、自在に視点を変える事ができる訳ではありませんが、これからも、その域に達する事ができるように、日々、鍛錬あるのみです。

2023 年 12 月、慈生会に新たな仲間「歓多希 とまとの家」がオープンしました。病院とはまた違った「視点」で新たな事を、いろいろ企画していくと思います。

2024 年、さらに地域の皆様に貢献できるよう、慈生会一丸となって頑張っていきたいと思っています。

前原病院・歓多希 とまとの家をはじめ、慈生会グループをどうぞよろしくお願い申し上げます。



★11月16日木曜日、2023年度TQM（小集団活動）発表会を開催しました。参加者全員に、テーマの重要性、取組の有効性、アイデア度、説得性、業務への反映性で5～1点で採点してもらいました。全11組が発表し、アニメーションや音楽ありの真摯でありながら楽しめて、他のスタッフから質問も多くあり、活気溢れるTQMでした。



★12月21日木曜日、クリスマス会を2階と3階に分けて行いました。3階は、暁の星中等高等学校の生徒さんによるギター・マンドリンクラブの演奏により幕を開けました。「きよしこの夜」「あめのみ使い」「オーホーリナイト」「丘を越えて」「幸せなら手を叩こう」「さんぽ（となりのトトロ）」「オール アイ ウォント フォークリスマスイズ ユー」を演奏していただき、最後に手作りカードのプレゼントを患者様、ご家族に手渡して演奏会は終了しました。次に看護師さんたちスタッフがハンドベルで「きらきら星」「きよしこの夜」を演奏し、ケーキを患者様のお部屋に運び、楽しいクリスマス会は閉会しました。



12月7日木曜日、医療法人慈生会の忘年会を4年ぶりに開催しました。院長の開会あいさつで始まり、乾杯の音頭は、くつろぎ苑の妹尾施設長でした。次に新入職者の紹介（病院・くつろぎ苑・歓多希）、「歓多希 とまとの家」の紹介ムービー。素敵な商品が当たる抽選会へと続き、その後は、食事を終え歓談タイムへ皆さん離席をして、交流を深めました。理事長の十八番「鉄腕アトム」の歌の後、閉会のあいさつで、楽しく忘年会を締めくくりました。



～お知らせ～

☆予防接種は、予約制となっております。

☆健康診断は随時行います。

☆前原病院人間ドックは、ご希望に合わせてメニューを組むことができますので、ご相談下さい。

☆特定健康診査、乳癌検診、福山市がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん)実施医療機関です。

毎週月曜日 10時～11時まで(祝祭日は除く) 無料の「健康教室」を歓多希とまとの家で行います。

前原病院
の概要

1日平均外来患者数：47人

令和5年11月現在

平均入院日数：療養病棟 142日、地域包括病棟 27日、緩和ケア病棟 49日

1日平均入院患者数：療養病床 31人、地域包括病床 13人、緩和ケア病床 12人

内科・胃腸科・放射線科・緩和ケア内科・リハビリテーション科
慈生会 前原病院

※福山市手城町一丁目 3-41 TEL(084) 925-1086 FAX(084) 923-4504

診療受付時間

午前 8:30～12:30 / 午後 14:30～17:30
※木・土曜日午後、日曜日、祝祭日は、休診です。



<バスでお越しの方>

中国バス：鋼管方面行き

バス停「千間土手西」下車、南へ徒歩3分

<車でお越しの方>

国道2号線を岡山方面へ進み、

「千間土手西」交差点を右折

☆多編集後記☆多

新しい年の始まりです。旧暦では1月から春が始まります。外はまだまだ寒くて、春には程遠い気候ですが新しい年を迎える心の華やぎは、初春という言葉にふさわしいですね。広報誌編集部一同

